

陳情文書表

平成31年第1回神奈川県議会定例会

平成31年2月26日

陳情番号	196	付議年月日	31.2.20
件名	湘南国際村センターと(株)湘南国際村協会の抜本的改革についての陳情		
付議委員会	陳情者		
総務政策常任委員会	※陳情者の個人情報については、個人情報保護のため、削除しています。		
<p>1 陳情の要旨</p> <p>湘南国際村センターの事業コンセプト（国際交流・教育・学術研究）に県民の健康づくり・保養・観光を追加して、機能と事業サービス範囲を広げ外部のホテル経営専門家の協力を得て、早急にお客様への接客対応を含めた新たな再生計画を策定して頂きたい。</p> <p>(1) 基本マーケットレポート、市場調査、現在の事業評価、運用・接客評価、組織評価。</p> <p>(2) 現在の宿泊室、会議室、展示室など全ての施設を利用、各機能と連携を取りどのように差別化するか、サービスのあるべき姿を描き優先付けして欲しい。</p> <p>(3) 湘南国際村センターの経営と運用は、民間専門家の委託を含め検討して頂きたい。</p> <p>2 陳情の理由</p> <p>(1) (株)湘南国際村協会は、経営陣を刷新して経営計画を策定。県はネットワーク活用により、湘南国際村センター施設の活用を図るとのことですが、10年以上同じ繰り返し良い結果が出ていません。ここで抜本的改革を断行、湘南国際村の中核である湘南国際村センター自体が光輝かなければ、情報発信や他地域との連携をとっても観光の来村者は期待出来ない。何れは、湘南国際村センターの廃館、(株)湘南国際村協会の解散に追い込まれるでしょう。</p> <p>(2) 湘南国際村センターの23年間の累計損失は、(株)湘南国際村協会の資本金損失20億円、県の維持費の肩代わり、16億円を合算すると36億円と膨大となっています。(年間平均1億6千万円)、以外に平成16年に施設40%の売却額も負債の返済に充当。これは湘南国際村センターをもう一棟建設できる近くの金額規模のようです。</p> <p>(3) 事業目標、湘南国際村コンセプト（国際交流・教育・学術研究）では収益が厳しいです。研修・会議サービスは、施設稼働率が低く収益上昇が見込めないようです。また主役のかわ国際交流財団は、収益や県民への貢献度も低く、施設の維持費の支払いなく、センター全体の収益を圧迫しているようです。</p> <p>(4) 収益向上には、事業目標に県民の健康づくり・保養・観光が必要です。湘南国際村の活発な施設は、中央福祉学院（ロフォス湘南）、シニアライフセンター、ライフゆう等コンセプトにない福祉・医療関連です。国・地方とも健康・医療・福祉を重視、湘南国際村住民も健康・運動の要望が高いです。</p> <p>(5) 湘南国際村センターの200人規模の国際会場の誘致は、競争激しく難しいです。発展する東京・横浜のホテルや国際会議場、200人規模の会議場は大学でも所有。(湘南国際村センタ</p>			

一会議場は、維持費の50%を県が負担しているが採算とれないようです) 外部有識者は、国際会議場の誘致は今後も厳しい、現在のホテル宿泊率で何故採算がとれないか疑問、研修だけでは立ち行かないとの意見です。

(6) (株)湘南国際村協会の経営陣を刷新しても、前回と同様、元県職員であり、ホテル事業経験なく、今後もホテル競争は大変でしょう。

(7) 湘南国際村センターの責任部署不在、(県、(株)湘南国際村協会、湘南国際村管理組合)役割分担、お金の流れ不明瞭、収益計算は、湘南国際村センター全体で行わず県民に情報公開していません。(平成28年度の包括外部監査で指摘) 従って下記のア、イのとおりにして頂きたい。

ア 収益は(株)湘南国際村協会の60%所有施設と県の40%所有施設全体で試算。

イ 湘南国際村センターの運用組織は、県、(株)湘南国際村協会、湘南国際村管理組合を1本化して頂きたい。

(8) 平成18年の湘南国際村改定基本計画において、湘南国際村センターの破綻問題に対応せず、赤字はさらに膨らみ大きな損失となった。平成30年3月からの湘南国際村活性化検討委員会も湘南国際村センターの破綻と経営問題は対象外とのことです。

(9) 県議会では、毎年、湘南国際村センターの改善、(株)湘南国際村協会の経営問題を指摘していますが、県は、(株)湘南国際村協会の経営指導と施設の活用支援を繰り返しています。

(10) 第三セクター問題に対する県と県議会の取り組み姿勢と解決力を問いたい。

陳情番号	197	付議年月日	31.2.22
件名	子どもたちの健やかな育ちを保障する保育事業の充実を求める陳情		
付議委員会	陳情者		
厚生常任委員会	※陳情者の個人情報については、個人情報保護のため、削除しています。		
<p>【陳情の趣旨】</p> <p>1 保育士の雇用について、非正規から正規への転換を行う事業者に対して県独自の補助を行うこと。</p> <p>2 保育士の処遇改善のための補助制度を作ること。</p> <p>【陳情理由】</p> <p>各自治体は、今年10月から国が進める幼児教育の無償化に対する事業を進めています。</p> <p>神奈川県は新たに「短時間保育士確保」の事業を予算化しました。無償化について「無償化はありがたいが安心して入れる保育園が心配」「受け入れる希望が増えるが、保育士の確保ができず十分に対応できない」など保護者、事業者からの不安の声が報道されています。</p> <p>一方、「保育士争奪戦」とまでマスコミで取り上げられるように、自治体間で保育士確保・定着の新施策が行われています。千葉県は、「市町村が行う保育士の処遇改善に係る事業に対し、その1/2（政令市は1/4）を補助」しています。東京都は、国のキャリアアップ助成金のうち「有期から正規」などへ転換を行う事業者に対する補助制度に、都として「上乘せ」し正規化を促進しています。</p> <p>これまで神奈川県は、「神奈川県版保育士試験」の実施で保育士資格の取得者を増やすことを進めてきましたが、資格取得者の県内定着が期待どおり進んでいない実態があります。</p> <p>今、緊急に求められているのは、保育士が安心して働ける雇用条件を作ることです。神奈川県として保育士が安心して働ける条件づくり、子どもたちが安定した保育環境で過ごせるよう、今必要な事業項目として「保育士の処遇改善事業」保育士正規化促進補助の充実に取り組むことを要望します。</p> <p>つきまして、神奈川の子どもたちが豊かな保育が受けられるように、ここに上記の項目が実現することを求めて陳情します。</p>			

陳情番号	198	付議年月日	31.2.22
件名	幼児教育・保育の無償化、待機児童解消、保育士の処遇改善のための必要な措置を求める意見書の提出を求める陳情		
付議委員会	陳情者		
厚生常任委員会	※陳情者の個人情報については、個人情報保護のため、削除しています。		
<p>【陳情の趣旨】</p> <p>国に対して「幼児教育・保育の無償化、待機児童解消、保育士の処遇改善のための必要な措置を求める意見書」を提出してください。</p> <p>【陳情理由】</p> <p>2019年10月から幼児教育・保育の無償化の実施が予定されています。無償化の実施そのものに反対するものではありませんが、今回の政府提案には多くの懸念事項が指摘されています。無償化の実施にあたっては、保育の実施に責任を負う市町村に新たな負担を強いることなく、また、喫緊の課題である待機児童解消や保育士の増員と処遇改善を後退させることがないように、以下について強く要望するものです。</p> <p>つきましては、貴議会より、国に対して、「保育の無償化、待機児童解消、保育士の処遇改善のための必要な措置を求める意見書」提出していただけるよう陳情いたします。</p>			

陳情番号	199	付議年月日	31.2.22
件名	橋本駅南口開発にあたっては、歴史ある相原高校の知恵と記憶を活かした街づくりをしてくださるよう県へ働きかけを求める陳情		
付議委員会	陳情者		
建設・企業常任委員会	※陳情者の個人情報については、個人情報保護のため、削除しています。		
<p>【陳情項目】 土地区画整理事業での開発が予定されている橋本駅南口県立相原高校の跡地利用について、随所に相原高校の記憶と知恵を感じられる街づくりをしてくださるよう、地権者である県に働きかけていただきたく陳情します。</p> <p>【陳情趣旨】 日本人の苗字を見ると、植物・動物・地形・生活が入ったものが多いことに驚かされます。議長「氏」は「桐生さん」ですね。一方、氏名の「名」は親や身近な人たちから生まれてきた子への思いが詰まっています。議長は「秀昭さん」。名は体を表すと言われるように、日本人の心技体のありようが名前からも伺えます。 2018年度をもって移転する県立相原高校は、1923年の開校以来、橋本の地で日本人の心技体を育んできました。その学び舎には、橋本に学校を創りたいと切望し、土地やお金を寄付した当時の住民の熱意が集結しています。</p> <p>96年の歴史の中で、多くの優秀な人材を輩出し、現相模原市長も同校出身の一人です。10年ほど前までは、市職員の要職の多くは相原高校出身者だったそうです。30年前、校長先生をされていた方のお話によれば、相模原市の園芸業者はほぼ同校出身だとか。生徒たち一人ひとりがゆとりある空間、校風によって大切に大切に育てられて来た賜物でしょう。</p> <p>地域の住民もまた、相原高校とともに生き、多くの恩恵を受け、成長してきました。その連続性と歴史をそのままに、相原高校スピリッツを活かした街づくりはできないものではないのでしょうか。もちろんリニア中央新幹線の工事をする中では、すべてを残すことは無理でしょう。しかし、その中にあっても、随所に相原高校の記憶と知恵を感じられる街、それを意識して考えていけば、日本中にも類を見ない思想と斬新さとを併せ持った街を整備できるのではないのでしょうか。</p> <p>2011年3月11日に起きた東日本大震災は大変不幸な出来事でした。これは個人的なことですが、その中で唯一よかったことがあります。それは、停電が続く中で、寒さ暗さに耐えながらも、工夫をし、五感を磨いて生きていく姿勢を思い出したことです。続く夏には、出来るだけ電気を使わないで済むように、北と南の窓を開け、すだれをかけ、手拭いを濡らして首に巻きました。私が生まれ育った昭和の慎ましく美しい所作です。</p> <p>橋本駅南口の街づくりを考える上でも、そうした心技体で発想できないのでしょうか。私たちの会では来たる3月10日、16日と相原高校散策会を催します。可能ならば、その折に卒業生、住民、市民、県知事、市長、市と県の職員、市と県の議員、OBの園芸業者、現役の先生、生徒さんたちが相原高校と思い思いに遊びながら考える。</p>			

次に専門家も入って開発計画を具体化していきながら、少しだけ時間をかけて、橋本の地にある相原高校にお別れをしていく。畑の土、木の一本いっぽんを愛おしむ。農業をしてきた高校だけに、想像の翼を広げてすべてをいただき、血となし肉とする。できれば、住民・市民、OBの園芸業者が一緒になって、何を残して何を失くすのか決め、宮大工よろしく自らの手で丁寧に片付ける。そうした作業はリニア駅工事を担うJR東海には難しいことではないでしょうか。そうして、慈しみを持って96年の歴史を終わらせることができれば、次の100年先の評価に耐え得る街を創出できるように思います。

駅前なのにさまざまな鳥が舞い、セミが鳴き、たくさんのカマキリがいるような公園や市民農園はいかがでしょう。一旦、3千坪の敷地を更地にしてしまっただけでは、魅力がなくなってしまいます。96年の時と一緒に生きてきた正門脇のクスノキ、ヒマラヤスギ、これらの大木をできるだけ生かしていく。実からシャボンの成分や羽根つきの玉が取れるムクロジ、手紙の木と言われるタラヨウ、イチヨウ並木やメタセコイア、言い始めたら切りがないですね。急激に温暖化が進み行く今、100年先を見据えた街づくりが求められているのではないのでしょうか。

どうか賢明な神奈川県議会議員の皆様におかれましては、もう少しだけ時間をかけて、どこにでもある個性のない駅前開発ではなく、魅力的でワクワクする街、しかもできるだけお金をかけずに経済効果の上がる計画にしていくよう、地権者である県に働きかけていただきたく陳情します。

陳情番号	200	付議年月日	31.2.22
件名	相原高校の保存樹クスノキと同校の緑地を保存し、橋本の緑と安心を守ることを求める陳情		
付議委員会	陳情者		
建設・企業常任委員会	※陳情者の個人情報については、個人情報保護のため、削除しています。		
〔陳情項目〕			
<p>相原高校の保存樹クスノキを残し、同校の緑地を保全し、橋本駅前の防災拠点（広域避難場所・帰宅困難者対策等）として、市民の安全安心を守るために移転跡地を整備することを地権者であり、県立高校の所有者である神奈川県に働きかけるよう陳情します。</p>			
〔陳情趣旨〕			
<p>相原高校の開校記念に植樹されたシンボルツリー・樹齢100歳(100年)のクスノキは、市の保存樹木に指定されていますが、2019年4月に高校が移転すると、リニア駅建設と南口開発のために伐られてしまいます。校内にある1000本150種類の木々もほぼ全部伐られ、肥沃な畑も庭園もなくなろうとしています。シンボルツリー・クスノキを残し、そこに相原高校の足跡を刻むレリーフを建てることを相模原市と協議して実現するように神奈川県に働きかけてください。</p> <p>移転に伴い相原高校は広域避難場所でなくなって、跡地は壁で遮断された工事ヤードの状態が10年続き、工事後もコンクリートと高層ビルの街と化すのではと懸念されます。市は代わりに小中学校を広域避難場所に指定し、避難所・一時避難場所と兼ねさせる計画ですが不安です。東日本大震災のとき800人の帰宅困難者を受け入れ、高層マンションからの避難者も滞在した相原高校は、重要な駅前防災拠点です。橋本地区の緑被率はわずか9.7%と旧市内で最低で、高校がなくなればさらに下がり、災害被害の規模拡大を招きかねません。</p> <p>相原高校は地域住民が土地とお金を寄付して関東大震災の年につくられました。防風防砂林を植え、農業と緑の恵みを大切にされた当時の人々の思いに学び、後世に渡って守り続けていくべき橋本の宝であり、誇りです。神奈川県と相模原市は緑豊かな環境と住民の安心安全を第一に考えて相原高校移転跡地を整備すべきです。そのために、県議会におかれましては、地権者であり、県立高校の所有者である県に対して最大限の働きかけをしていただきますようお願い申し上げます。</p>			